

南海トラフ 大地震

災前を尽くす

下多度地区社会福祉協議会
防災対策部会
連絡先 小林 57-2325

大地震 あとで泣くより 前備え

南海トラフ大地震に備え

家内の耐震化

を今すぐに実施しましょう

昭和の南海トラフ地震(岐阜県の被害状況)

1944 年

岐阜県のホームページより

1946 年

笠郷村(全戸の20%)
全壊61、半壊85

上多度村(広瀬村
笠郷に次ぐ被害)
上多度小渡り廊下倒壊

西江村(全戸の20%)
全壊42、半壊23

石津村
西江村に次ぐ被害

大江村
西江村に次ぐ被害



高田町
全壊81、半壊77、焼失1

笠郷村
1944年よりひどい

上多度小学校
北舎倒壊、南舎半壊

天照寺(根古地258沿い)
本堂全壊(薩摩義士本陣)

今尾町
本町通:倒壊14、船町通: 1
割以上が住めない

岐阜県における被害は、1944、1946 共に近隣で発生しています。

まずは怪我・火災の防止から

家具転倒・ガラス飛散の防止、感震ブレーカー設置
(怪我) (火災)

コメント:次の南海トラフ地震は規模が大きく、岐阜県の被害想定では、死者470人(30倍1944比)、負傷者13,000人(300倍1946比)となっています。自治会が中心となり**家内の耐震化**を進める必要があります。